

令和7年度

学校評価集計資料



明るく元気で ねばり強く 思いやりのある児童生徒

沖縄県立森川特別支援学校

令和7年度県立森川特別支援学校 自己評価表 (職員)

※【評価値】 A：達成できた、 B：ほぼ達成できた、 C：やや改善が必要、 D：改善が必要

評価項目	具体的方策	A	B	C	D
教育目標	1 本校の教育目標を理解し、児童生徒の実態に即した具体的な教育目標を設定している	10	20	0	0
	2 児童生徒の実態に応じた適切な教育課程が編成されている	10	19	1	0
教育計画	3 個別の教育支援計画は、本人、保護者の願いを踏まえ、適切な教育的ニーズが設定されている	11	19	0	0
	4 個別の教育支援計画、個別の指導計画が、日々の教育実践で活用されている	6	24	0	0
	5 年間指導計画は、学部内・学部間で一貫・継続した指導ができるよう系統的に作成されている	8	22	0	0
	6 各教科等の指導の重点は、学習指導要領に沿っている	16	14	0	0
教科等の指導	7 授業内容の理解促進のため、児童生徒に応じた配慮・工夫が行われている	17	13	0	0
	8 教材の精選、授業時数の確保等、学習保障への工夫がなされている	15	14	1	0
	9 実践的・体験的な活動を通して、児童生徒が主体的に学習活動に取り組めるよう工夫している	13	14	3	0
自立活動	10 個々の児童生徒の実態に即した内容が、計画的に実施されている	7	23	0	0
	11 個々の児童生徒の実態、目標の共有、指導体制の構築等において、職員の協働・連携が図られている	10	20	0	0
総合的な学習(探究)の時間	12 ねらいや指導内容は、児童生徒の興味・関心に即したものとなっている	9	19	2	0
道徳教育	13 道徳教育の全体計画を作成し、職員相互の共通理解や指導体制の連携を図っている	6	20	4	0
特別活動(生徒支援)	14 児童生徒会活動をはじめ、児童生徒が主体的で楽しく活動を進められるよう指導している	14	14	2	0
学校・学部の取組	15 事前・事後指導を十分行い、児童生徒の実態に即した内容となっている	14	15	0	1
ICT活用	16 ICTの活用について、学びの深化・定着や自立活動等、学習指導や支援の充実に向け、積極的に取り組まれている	16	13	1	0
支援部・教育相談	17 適宜、関係者、関係機関等と連携し児童生徒及び保護者の支援に努めている	21	9	0	0
	18 特別支援教育のセンター的機能の充実に努めている	20	9	1	0
安全指導(保健安全)	19 病気理解と健康管理(健康の保持増進や体力の向上)について意識づけを行い、健康的な生活習慣の確立に向け取り組んでいる	18	11	1	0
	20 災害時及び緊急時等に適切な対応ができるような体制が整い、適切に訓練が実施されている。(病院内とも連携を行う)	17	11	2	0

健康・安全・給食	21	児童生徒の健康・安全・給食指導に関して、各部署と連携を図りながら、十分配慮された取組がなされている	18	11	1	0
キャリア教育・進路指導	22	児童生徒の将来に向けて、計画的、系統的に進路の指導（実習も含む）・支援が適切に行われている	14	16	0	0
交流及び共同学習	23	児童生徒の個々のニーズを踏まえた交流が行われている	8	18	4	0
図書室の教育活動	24	図書だよりや本の紹介、掲示板等を通して、児童生徒の興味関心を高める工夫がされている	19	10	1	0
環境美化	25	校内（院内）の保清や緑化の取組により、教育環境の充実が進められている	18	10	2	0
校内研修	26	指導・支援上の課題解決に資するよう、適切に取り組まれている	19	10	1	0
家庭、地域社会等との連携	27	医療機関と日頃から児童生徒の病状に応じた相談や対応等の連携を図っている	20	9	1	0
	28	学習活動、支援の充実に向け、保護者、関係機関等と適切に連携している	20	10	0	0
職員の協働・連携	29	教育活動、分掌業務において、職員の協働・連携が図られている	16	13	0	1
人権教育	30	児童生徒に対する不適切な言動や不適切な指導等の実態把握に努め、早期発見早期対応に努めている	18	12	0	0
PTA	31	PTA活動、諸行事を通して、保護者と協力し教育活動の充実に努めている	12	17	1	0
施設・設備等	32	教育活動のための施設・設備は整備されている	12	13	5	0
	33	教育活動のための教材・教具や図書等の充実が図られている	12	15	3	0
備品管理	34	教育活動を効果的に行うために、教材教具等を有効に活用し、整理・保管等が適切になされている	13	15	2	0
安全点検	35	校内（院内）の施設・設備の点検を定期的に行い、修繕等の環境改善に努め、安全管理がなされている（病院とも連携を行う）	17	12	1	0
働き方改革と業務改善、ハラスメント防止 【学校における働き方改革の3軸・6視点より】	36	個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保ができています	9	13	5	3
	37	一人一人の生徒との信頼関係を深めることができています	14	14	2	0
	38	心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています	14	14	1	1

※ご意見やその他お気づきの点がありましたら、記入をお願いします。

・ 高等部の職員数が4年前の10名から減りすぎて、教育目標の達成に支障をきたしている。

令和7年度県立森川特別支援学校 自己評価表 (事務現業)

No	評価項目	具体的評価項目			
		A 十分	B やや 十分	C やや 不十分	D 不十分
1	健康・安全教育	5	2	0	0
2	"	5	2	0	0
3	環境美化	4	3	0	0
4	家庭・地域・関係機関との連携	5	2	0	0
5	"	3	4	0	0
6	文書・予算処理(私費(委員会等))	6	1	0	0
7	"	5	2	0	0
8	"	6	1	0	0
9	"	6	0	1	0
10	"	5	2	0	0
11	"	7	0	0	0
12	"	5	2	0	0
13	"	2	4	1	0
14	"	7	0	0	0
15	感染症対策	5	2	0	0
16	"	7	0	0	0
17	働き方改革と業務改善、ハラスメント防止	3	4	0	0
19	【学校における働き方改革の23編+6編点止り】	4	3	0	0
20	"	5	2	0	0

令和7年度森川特別支援学校 自己評価表（学校職員） 集計・考察

（本校教員）15人（院内教員）15人（事務現業職員）7人 合計37人

昨年度に引き続き、学校評価（自己評価）は、Formsで入力を行った。小中学部・高等部・院内学級・事務現業部の教職員全員から回答を頂き回答率100パーセントであった。これは、職員全体が本校の教育や学校運営等に関して積極的に取り組もうとする関心のあらわれだと考えられる。また、ほとんどの項目において、「A達成できた」「Bほぼ達成できた」の良い結果をつけ概ね肯定的な回答を得ている。日々の授業実践を、生徒に積極的に向き合い取り組んでいたためだと考える。

以下、「やや改善が必要」、「改善が必要」を2割以上が選択している項目に対して考察する。

【働き方改革】

評価項目	具体的方策	
働き方改革と業務改善、ハラスメント防止	36	個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保ができています

県の目標として、≪教職員が「働きやすさ」「働きがい」「心身の健康」を十分に実感できる環境整備を整えるためには、目的実現のための「3軸・6視点」の実感の向上が必要だとし、2026年度末までに肯定的回答を80%以上としている。（No.26→97%、No.29→97%、No.37→93%、No.38→95%）

以下、全職員で肯定的な回答が80%に満たない「個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保ができています（78%）」について考察する。（参考：R6 県内全公立学校 62.7%、県内特別支援学校 68.0%）

No.36 教職員の個人の裁量ある時間を確保することは本人の負担軽減のみならず、授業の質の向上、（分かりやすい授業を提供することで）生徒の学習意欲の向上、延いては学校全体のパフォーマンスの向上に繋がる。

今年度はICTツールを活用した業務の効率化（学校LINEを導入し、生徒の欠席連絡、家庭への配布物の提供等）や柔軟な勤務時間の導入（夏季休業期間中のフレックスタイム）、会議の効率化等の業務のスリム化を図ってきた。

実効性のある取り組みを推進していくためには、全職員で「子ども達へより良い教育を行う」という目的の共有が必要である。

今後も先生方と一緒により良い教育を行うための「時間と機会の創出」に向けて働き方改革のアイデアを募ったり、持ち時数の軽減に向けてSTの人数を調整したり、各分掌での削減業務の洗い出しをしたりと個人の裁量ある時間の確保を進めていきたい。

※ご意見その他お気づきの点がありましたら、記入をお願いします。

・高等部の職員数が4年前の10人から減りすぎて、教育目標の達成に支障をきたしている。

令和7年度県立森川特別支援学校 児童生徒アンケート

(A:とても思う、 B:少し思う、 C:あまり思わない、 D:ぜんぜん思わない)		とても 思う	少し 思う	あまり 思わない	ぜんぜん 思わない
1	学校(教室)へいくのが楽しい	5	3	0	0
2	授業はわかりやすい	5	3	0	0
3	先生は 教え方を いろいろ工夫して教えてくれる	8	0	0	0
4	授業では 考えをまとめたり、発表したりすることがある	4	3	1	0
5	ものを作ったり、絵をかいたり実験するなど、体験学習がたくさんある	5	2	1	0
6	授業ではコンピュータやインターネットを 使うことが多い	5	3	0	0
7	先生は自分たちの意見を、よく聞いてくれる	6	2	0	0
8	先生は自分やみんなを、よくほめてくれる	8	0	0	0
9	先生は児童生徒の健康や安全に気をつけている	7	1	0	0
10	進学や就職など、将来のことについて 先生と話をしている	5	2	1	0
11	気軽に 相談できる先生がいる	6	2	0	0
12	先生は、プライバシーを守ってくれる	7	1	0	0
13	教室で いじめや 暴力*は みられない ※「暴力」とは、暴行(ぼうこう)罪や傷害(しょうがい)罪など法律で禁止されているような行為のことをさします	8	0	0	0
14	「健康的な生活習慣」、「安全・安心」、「社会のルール」などについて学習している	8	0	0	0
15	「豊かな心」、「思いやりの心」、「役割・協力する心」について学習している	7	0	0	0
16	学校・学部の取組は楽しみである	5	3	0	0
17	児童生徒会の活動が充実している	6	2	0	0
18	本校や 院内学級、住んでいる地域の学校や他の学校との交流が行われている	6	2	0	0
19	地震や 火事が起こったとき、不審者がいるときはどうすればよいか、知らされている	7	1	0	0
20	本校の中で「危険だなあ」と思う場所は ない (危険 だと 思う 場所 があれば、下のわくに書いてください)	6	2	0	0

※学校や先生方に対して、意見があれば書いてください

・ 無

・ 小1～高3までの勉強がしたい。

令和7年度森川特別支援学校 児童生徒アンケート考察

児童生徒が学校を安全な居場所としてくれるように学校生活を工夫すること必要で、児童生徒の実態や障害の特性を理解すること、一人一人の声に耳を傾けることは必要不可欠である。

評価内容に関して、ほとんどの評価項目で「Aとても思う」「B少し思う」の良い評価をつけ、概ね肯定的な回答を得ている。以下、「Cあまり思わない」「Dぜんぜん思わない」を合わせて2割以上の評価を付けている評価項目に対してはなかった。

日頃より授業や学校・学部での取組みにおいて、教職員がしっかりと児童生徒の実態に応じた対応がなされてきた成果であると推測される。今後も実態に応じた授業実践や取り組み方を工夫していきたい。

令和7年度県立森川特別支援学校保護者アンケート (保護者)

※【評価値】 A：とても思う B：少し思う C：あまり思わない D：ぜんぜん思わない

評価項目		A	B	C	D
教育目標及び教育活動	1 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている	6	2	1	1
	2 学校は、子どもの「生きる力」、「豊かな心」を育む教育を行っている	7	3	0	0
	3 学校では、特色ある教育活動が行われている	5	5	0	0
	4 先生は、子どもの障害及び病気、特性（発達段階や性格）をよく理解している	7	3	0	0
	5 先生は、子どもの人権を尊重する姿勢で指導に当たっている	7	3	0	0
	6 先生は、子どものまちがった行動は適切に指導してくれる	7	3	0	0
	7 子どもにとってわかりやすい授業が行われている	4	6	0	0
	8 学習内容や授業時数は適切に設定されている	5	5	0	0
	9 懇談会や学級通信などで学習活動の内容が十分伝えられている	6	4	0	0
	10 先生は、子どもの能力や努力を適切・公平に評価している	6	4	0	0
	11 通知表は、学力を適切に評価できるように工夫されている	5	5	0	0
	12 子どもは学校へ行くのが楽しそうである	4	3	2	0
	13 家庭との連携を図りながら、適切な進路支援を行っている	5	4	1	0
	14 児童生徒会活動は充実している	5	4	1	0
	15 本校と院内訪問学級との交流は適切に行われている	5	5	0	0
保健安全	16 防災、地震、不審者侵入対策等の避難訓練を実施し、子どもが安全な行動ができるように指導している	7	1	2	0
	17 台風やその他の災害時の対応について、保護者との連携が図られている	5	4	1	0
	18 学校は感染症予防対策をしっかり行っている	7	3	0	0
	19 施設・設備の安全点検や環境整備が十分に行われている	6	4	0	0
教育相談	20 学校は、子どものことについて相談に応じてくれる	10	0	0	0
	21 子どもに関するプライバシーは守られている	9	1	0	0
保護者等の連携	22 病院（医師、看護師）や福祉、就労先等、関係機関等との連携が図られている	5	5	0	0
	23 P T A 研修等、P T A 活動に参加しやすい	3	7	0	0

※学校に対してご意見がありましたらご記入ください。

・生徒一人一人と向き合っの教育や、温かく見守りをさせていただいており、保護者は安心して送り出すことができると思います。

令和7年度森川特別支援学校 保護者アンケート考察

生徒の登校が安定しないなかでのアンケートのご協力いただき誠にありがたいことである。全体的に見て、児童生徒の授業や学校教育に対して高い評価となっており、日頃の教育活動、保護者との連携に努めた教職員の姿勢によるものと考えられる。今後もさらに教育活動について、その目標と学習活動や内容・評価の関連を意識し保護者に伝えて周知を図り、連携して取組めるよう働きかけたい。

評価内容に関して、ほとんどの評価項目で「Aとても思う」「B少し思う」の良い評価をつけ、概ね肯定的な回答を得ている。以下、「Cあまり思わない」「Dぜんぜん思わない」を合わせて2割以上の評価を付けている評価項目に対して考察する。

①学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。

→本校学校教育目標等を受けて各教科の教育課程に沿って日頃の教育活動を実践している。評価を受けて、学校教育目標等を具体的に保護者に周知することが必要であると感じた。

保護者が少しでも理解していただけるように、以下の内容等で丁寧に対応していく。

- ・年間行事や授業・行事の取組の工夫（どんな場面で方針が生かされているか）等を、図や写真で「方針が実践されている様子」がわかるような学部だより等の資料の配付やHPへの掲載、必要なら個別相談等で説明する等で対応していく。
- ・聞き取る機会があれば、「子どもに身につけたい力」を直接伺い、本校教育方針と結びつけるなど、双方向で話し合える場（説明会や個別相談等）を設け、対応していく。

②子どもは学校へ行くのが楽しそうである

→年間を通して教職員で創意工夫をしながら、授業や指導等に取り組んでいる。本校児童生徒の実態として、自身の体調から学校に向かうこと自体が難しいという児童生徒がいることは否めない。そのような生徒が少しでも足を運びやすいように、実態に即した内容や授業の理解促進のための工夫改善を図っていきたい。そのために、より一層の専門性向上を図っていき、魅力ある学習活動に努めていきたい。

⑥防災、地震、不審者侵入対策等の避難訓練を実施し、子どもが安全な行動ができるように指導している

→学校の教育課程に位置づけ毎年2回の避難訓練を実施している。関係機関等と連携を図りながら、児童生徒等に対する防災教育を更に推進することが重要である。

令和7年度県立森川特別支援学校 学校関係者評価 (学校評議員用)

(A:とても思う、 B:少し思う、 C:やや改善が必要、 D:改善が必要)

評価項目		評価			
教育目標及び実践	1 学校は、様々な機会を通して教育方針を分かりやすく伝えようとしている	3	0	0	0
	2 学校では特色ある教育活動が行われている	3	0	0	0
	3 学校は、教育課題について適切に取り組んでいる	3	0	0	0
	4 学習内容や授業時数は適切に設定されている	3	0	0	0
	5 個々のニーズに応じた教育実践及び、個に応じたきめ細かな指導が行われている	2	1	0	0
	6 職員相互の共通理解の下、指導の連携が図られている	3	0	0	0
	7 学校は子どもたちの生きる力や豊かな心を育もうとしている	3	0	0	0
	8 交流及び共同学習において、児童生徒の個々の目的をふまえた交流が行われている	1	2	0	0
	9 学校は子どもの社会的マナーやルール の指導を行っている	0	3	0	0
	10 学校の雰囲気良く、子どもたちは生き生きしている	2	1	0	0
	11 ICT機器を活用した教育を積極的に行っている	2	1	0	0
	12 学校では、子どもに関するプライバシーが守られている	3	0	0	0
保健安全	13 台風やその他の災害時の対応について保護者との連携が図られている	1	2	0	0
	14 防災、地震、不審者侵入対策等の避難訓練が適切に実施されている	0	3	0	0
	15 学校は、子どもたちの健康管理に対し十分配慮している	3	0	0	0
	16 学校は、感染症予防対策をしっかりと行っている	3	0	0	0
	17 校内の換気、照明、温度調節、水質検査等、衛生管理が行き届いている	3	0	0	0
施設・設備・環境	18 学校は、施設・設備等の環境整備を十分に行っている	2	1	0	0
	19 教室内外の施設・設備は、バリアフリー等、機能的な改善が図られている	2	1	0	0
	20 施設設備に関し、学校は子どもたちの危険防止に十分配慮している	3	0	0	0
	21 情報教育に関する備品や教材が整備されている	2	1	0	0
	22 学校の緑化及び環境づくりは充実している	2	1	0	0
	23 学校は清掃が行き届き、いつも綺麗である	3	0	0	0
PTA・地域との連携	24 本校のPTA活動は活発である	0	1	1	0
	25 学校では、PTAが活動できる部屋が設けられている	1	1	0	0
	26 学校は、PTA及び地域との連携を積極的に行っている	0	1	0	1
	27 学校が出す文書・事務連絡等は適切である	2	1	0	0
	28 学校の取組や講演会等への参加を広く呼びかけている	2	1	0	0
	29 地域の人材や施設、文化等の活用を推進している	1	2	0	0
	30 学校は地域の行事に積極的に関わっている	0	1	1	0

(A:とても思う、 B:少し思う、 C:やや改善が必要、 D:改善が必要)

評価項目			評価			
その他	31	病弱教育を行う特別支援学校としてセンター的役割を果たしている	3	0	0	0
	32	特別支援教育について、教育相談や研修がなされている	2	1	0	0
	33	病院や福祉、就労、関係機関等との連携が図れている	3	0	0	0
	34	院内学級の学習環境は十分整備されている	1	2	0	0

※学校教育についてのご意見・ご要望をお書きください。

様々な課題を持つ子ども達に、その子1人ひとりに、適切な教育の場を提供するのはとても大変なことと思います。どうぞ健康を大切に 笑顔溢れる毎日が送れますように。

→温かいお言葉をありがとうございます。励ましを胸に、これからも子どもたちのために努めてまいります。

学校は設備環境等に出来るだけの対策を行っていると感じているも、その対策にも出来る限界があるため、県には子どもたちがより前向きな気持ちで学べるように、老朽化に対する予算をしっかりと付けて設備環境等を充実させて欲しい。その事も、学校に通いたくなる気持ちに繋がると考える。また、院内学級の設備環境等も病院建替えて改善されてきた様に感じるも、院内学級を利用している子どもたちが少しでも前を向けるような継続的な設備環境等の改善向上を森川だけでなく、県教育委員会から積極的に取り組んで欲しいと考える。→琉大病院の院長と会えない件について、然るべき立場の方がやはり動かないといけないのでは？と率直に感じる。先生方はとても熱心な気持ちを持って取り組んでおり、生徒一人一人に向き合う素晴らしい学校であると感じている。

→貴重なご意見ありがとうございます。設備面の充実に関しては、引き続き関係機関と連携しながら、少しずつでも改善を進めていけるよう努めてまいります。琉大病院院長とは先日面会することができました。これからも連携していき、支援の充実を図っていきたいと思います。

○与えられた環境や子どもの実態に即した中で、真摯に教育活動に取り組まれていると思います。これからも、子どもたちのために、さらなる活動の充実が図られることを期待しております。

○「PTA活動用の部屋があるか？」は我々に訊かれても…という印象です。

○自己評価の設問12「指導内容が児童生徒の興味・関心に即したものとなっているか？」とあるが、定められた学習内容には、興味・関心の薄いものも少なからず含まれているのでは？ ※恐らく、興味・関心を喚起するような手立てを講じているかどうかを問うているのだと思いますが。

→ご意見ありがとうございます。児童生徒が「おもしろそう」「やってみたい」と興味関心をもちやすくなるよう、指導方法を工夫(活動方法やICTの活用)しながら、今後も授業改善を図っていきたいと思います。